

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

方針 3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康） ◆たしかな考え（理性・認識） ◆ゆたかな心（感性・情緒） ◆よき仲間（協調性・社会性）



るんびに0歳児くらすだより

♪穴ぽっとんだいすき♪

～手先や指先遊びに夢中で楽しんでいきます～

令和5年11月28日（火）

文責 田代 美穂

寒さも厳しくなり、本格的な冬の訪れを感じる季節になりました。冷たい風にも負けず、元気いっぱい遊ぶ子ども達に、たくましさを感じます。今年も残すところわずかとなりました。一人ひとりが成長したことを改めて感じる、今日この頃です。お家の方からも「～ができるようになりました。」とお知らせがあったり子ども達の成長を共に喜び合う事が出来たりしたことを、嬉しく思います。毎日元気に過ごせるよう感染症の予防に努めながら、季節が感じられる活動を楽しんでいきたいと思ひます。

最近の子ども達のブームな遊びは指先を使ったあそびです。指先で小さいものをつかむことができるようになり、積み木や小さな物なども親指、人差し指、中指でつかめるようになってきました。握力もついてきて積み木を積み重ねることもできるようになってきます。空のミルク缶やタッパーのふたをくりぬいた物に布やボール・ペットボトルキャップをつないだものを穴に繰り返し落とし楽しんでいきます。ペットボトルキャップをつないだものは穴を少し小さめに開けてあるので指先に力を入れないと入りません。ぐ～と力を入れて“ポットン”と落ちると手をパチパチたたきながら「できたよ」とアピール！「できたね！」と言うとまたまた嬉しそうな表情の子ども達です。最近はこの時期ならではのドングリを使った穴落としも楽しんでいきます。初めは一人ひとりペットボトルにドングリを入れ集中して楽しんでいる中、ふとお友達の様子が気になりお友達のペットボトル目がけて一緒にドングリを入れたり、タッパー容器の周りに自然と集まり仲良く穴落としを楽しむ様子がみられお友達と一緒に遊ぶ楽しさも感じています。

お散歩時、ドングリスポットを知っている子ども達はさっそくドングリを見つけ、「あったよ～！」と嬉しそうに見せてくれます。塀の上に並べたり、お友達に「はいどうぞ♪」と手渡し、やり取りを楽しむ姿も見られるようになってきました。毎日の遊びの中で、たくさん手や指先を使う機会があります。手の動きがまだ、しっかり発達していないのでなかなか思うように動かすことができない時もありますが、子ども達の「遊びたい！」という気持ちを大切にしながら「できた！」「楽しい！」を子ども達と一緒に感じていきたいと思ひます。



新しいお友達の紹介 かまくら かいせいくん

12月生まれの笑顔のかわいい男の子です！お散歩が大～好き♥ ハイハイであちこちと移動したり、伝い歩きも出来るようになり体を動かすことがとって～も大好きで元気いっぱいです！どうぞよろしくお願ひします♪



★お知らせとお願い★

- ・爪が伸びていると、思わぬ怪我につながります。こまめにチェックしてください。
- ・日中の活動中、暖かい所では出来るだけ薄着で過ごし、本格的な冬が来る前に健康な体作りを進めていきたいと思えます。新陳代謝が活発な子ども達は汗をかきやすく、体温も高めなので厚着でいることで、かえって風邪を引かせてしまう事もあります。また、あちこち歩くようになり、探索活動も盛んになってきた子ども達は厚着でいることによって自由に体を動かさず、活動が妨げられてしまう事もあります。一人ひとりの健康状態をみながら無理のないように薄着での生活を心掛けたいと思っています。家庭との連携をとっていきたいと思えますのでご協力よろしくお願ひします。

苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 黒木 美紀 解決責任者 園長 假屋 由美子

第三者委員 丸田 瑞穂 (099-482 - 6172) 横峯 友理子 (099-474-1851) 山口 和美 (090-5473-5866)